令和 8 年 11 月 16 日

日本歯科衛生士会　医療連携歯科衛生士委員会

第 18 回歯科衛生士研究会　特別講演に関する質問内容と回答について

令和 8 年 11 月 7 日（土）に開催された第 18 回歯科衛生士研究会の特別講演における質問と講師からの回答です。

質問①	コミュニケーションの取り方に迷いがあったのですが、少し考え方の悩みは解決できました。ありがとうございました。
回答①	コミュニケーションは、患者との関係性やその時の心理状態によっても変化するので、迷うことも多いと思います。また迷ったことがあれば一緒に学んできましょう。
質問②	歯科医師、歯科衛生士と緩和ケア病棟に歯科介入をしています。看護師さんに実習を含めて OJT も行っているのですが。看護師さんが受け入れやすい指導方法やシステムで参考になる研究や手法があれば教えて頂きたいです。
回答②	私も病院で新人看護師向けの講義をしているのですが、短時間で、簡潔にまとめることが必要かもしれません。SNS に慣れている世代ですので、可能であれば実践を動画にして、見ながら説明すると良いと思います。
質問③	病院で看護師さんと協働して口腔ケアをする事を目標としているので、本日の講演のために参加したくらい、とても楽しみにしていました。 講演中の保湿重視の口腔ケアとは、具体的に何を使用して、何分くらい、どのような間隔で実施や、病棟看護師さんにご提案されたのか差し支えなければ教えていただく事は出来ますでしょうか？ NPPV など、カラカラに乾いている方に氷水で冷やしたスポンジブラシで冷刺激をしても大丈夫ですか？ 鎮静状態の方は、あえて起こさず、静かにケアした方が良いのでしょうか？
回答③	保湿重視のケアについては、まずは口唇のプロペト塗布から始め、その後に口腔内のケアをするのですが、現在研究中の方法で実施しているので、近々学会でお伝えできる日がくると思います。NPPVの方に氷水で冷却したスポンジブラシ、患者さんは喜ぶと思います。その時も垂れ込まないことが重要です。水気を切ってケアをして下さっていると思うのですが、私は保湿剤をうまく使用しています。また、鎮静状態の患者さんは、その時の状況で起こしてケアする方が良いのか、今はそっと寝かしておいて、起きたタイミングで実施するのかを担当の看護師さんと相談してみて下さい。